

加茂市

議会だより



主な内容

- 一般会計補正予算を可決 …… (2)
- 委員会の審査から …… (3)
- 11人が一般質問に登壇 …… (4)
- 私立高校の公費増額を採択 … (7)
- 意見書を提出 …… (7)

## サッカー場竣工式後の 親善試合に集う子どもたち

(於：10月15日 川西地区)



# 一般会計補正予算を可決

## 中小企業金融対策費など

### 定例会日程

- 20日 本会議・全員協議会
- 21日 本会議
- 22日 本会議
- 25日 連合審査会
- 26日 産業建設常任委員会
- 27日 社会厚生常任委員会
- 28日 総務文教常任委員会
- 29日 水道事業会計決算審査特別委員会
- 10月3日 本会議

九月定例会市議会は、二十日から十月三日まで会期十四日間が開かれました。この定例会では、各会計補正予算、条例の制定、指定管理者の指定など市長提出議案二十六件を慎重に審議の結果、すべて承認、原案可決、認定、同意しました。

また、議員提出の意見書三件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

#### 補正予算

一般会計は第六号で四百八十六万五千円を減額し、第七号で二百七十四千円を増額し、予算の総額を百三十三億九千七百五十三万八千円とするものです。

歳出の主な内容は、中小企業金融対策費三百五十八万四千円、難視聴地域の受信状況調査委託料二百七十四千円を増額し、下水道事業特別会計繰出金一千九百八十四万七千円を減額するものです。

国民健康保険特別会計は、一億二千九百二十五万四千円を増額し、予算の総額を三十億三千二百六十二万九千円とするものです。

歳出の内容は、保険財政共同安定化事業拠出金一億二千三百三十四万七千円などを増額するものです。

下水道事業特別会計は、職員人件費一千九百八十四万七千円を減額し、予算の総額を十九億

九千五百六十八万八千円とするものです。

介護保険特別会計は、一千九百四十二万一千円を増額し、予算の総額を十九億九千七百六十七万六千円とするものです。

歳出の内容は、償還金一千三百六十万二千円などを増額するものです。

在宅介護サービス事業特別会計

計は、職員人件費百六十万三千円を減額し、予算の総額を四億五千八百二十八万六千円とするものです。

水道事業会計は、収益的収支の支出で営業費用六十六万一千円を増額するものです。

新潟県収入証紙

新潟県収入証紙

購買基金条例は、

入証紙を発給窓口で売りさばくため、基金を設置するものです。二万年前旧石器公園条例は、公園事業の施設が今秋に完成することに伴い、管理運営に必要な事項を定めるものです。

#### 条例改正

国民健康保険条例は、健康保険法等の改正に伴い、療養の給付に係る一部負担金の割合を二割から三割に引き上げるものです。

体育施設条例は、サッカー場が今秋完成することに伴い、その名称等を定めるものです。

上水道新設工事分担金徴収条例は、工事費に充てるため、西山地区を分担金の徴収地区にするものです。

#### 規約の変更

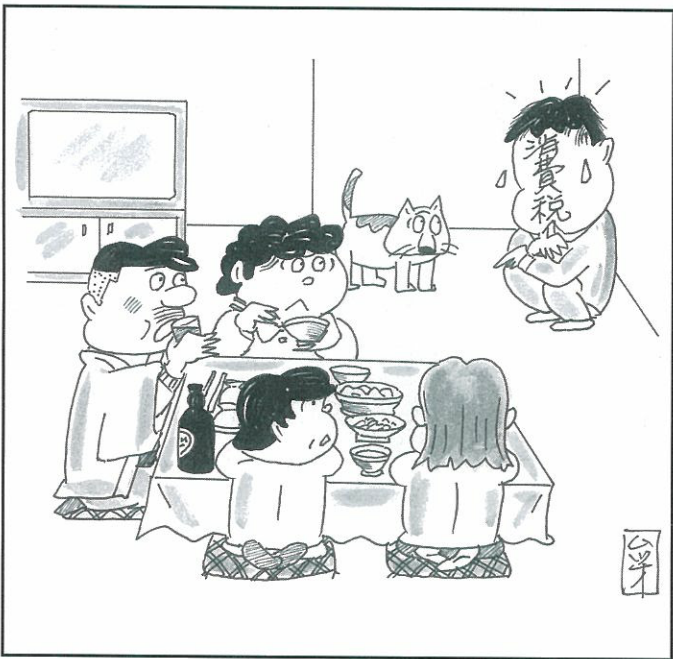
新潟県中越福祉事務組合の規約等は、知的障害者福祉法に規定する「知的障害者更生施設」が障害者自立支援法に規定する「障害者支援施設」に移行したので、規約を変更するものです。

#### 市道路線

道路法により駒岡線第五号及び番田四号線をそれぞれ市道に認定するものです。

#### 指定管理者

指定管理者の指定は、産業センター等について、管理を委託する団体名称等を定めるものです。



嫌われっ子 羽生 六男



### 固定資産評価審査委員に同意

人事 定例会初日の本会議で、九月三十日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、古川良二氏（青海町、74歳）の選任について同意しました。

## 委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案は、9月26日から28日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。

### 産業建設常任委員会

九月二十六日に委員会を開催し、下水道事業特別会計補正予

算など付託された議案五件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

### 社会厚生常任委員会

九月二十七日に委員会を開催し、介護保険特別会計補正予算など付託された議案五件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

### 総務文教常任委員会

九月二十八日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案四件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書提出に関する請願は、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決

### 水道事業会計決算 審査特別委員会

定例会初日の本会議において設置された特別委員会は、八名の委員で構成され、直ちに安武委員長、森山副委員長を選出して、九月二十九日に委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

審査にあたっては、平成十七年度水道事業会計決算書及び関係資料に基づき説明を受け、質疑を行った結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で認定すべきものと決定しました。



産業建設常任委員会の現地視察（番田・市道認定力所）



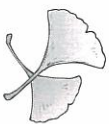
総務文教常任委員会の現地視察（上大谷・二万年前旧石器公園）

### 10月 臨時会

十月二十七日臨時市議会が開かれ、市長提出の議案二件を原案可決しました。

新潟県収入証紙購買基金条例の一部改正は、一般旅券発給事務に伴い、収入印紙も窓口で売りさばきたいというものです。

一般会計補正予算は、農林水産業施設災害復旧費一千二百二十九万七千円、二万年前旧石器公園周辺道路整備事業費八百九十九万一千円などを増額するものです。





### 市施設等の運営のあり方について

市民クラブ 高井 保 議員

質問 ① 美人の湯は、開館以来大きな赤字が続いている。また、ふるつきのコミュニティセンターは、十六年度決算で見ると、三カ所で四千五百八十四万円の持ち出しとなっている。市の施設の管理について、どう考えているのか。

質問 ① 八月二十九日、担い手育成確保支援対策の内容が示され、担い手農家へのメリットが打ち出された。現在、加茂市の認定農業者数と平成十九年四月より品目横断的経営安定対策に申請できる農家数はどのくらいで、法人を含めた耕作面積に

の料金を払っているもので、本来公共施設は無料でお使いいただくものである。したがって、コミュニティセンターは百円いただくべきものではなく、無料にするのが本来妥当な姿である。② 今後もこの高い市政の水準を堅持し、向上させていく。そして、救命救急センターをしっかりやりと実現し、加茂病院を守り、加茂警察署を守っていく決意である。

### 担い手経営安定新法の制定による、加茂市の農業について

清流クラブ 山田義栄 議員

② 国が地方に対して、こんな状況にあるときは、行政の計画やマニフェストなどできるわけがないとして、その年、その年の予算編成をやってきたが、加茂市の未来像を市長はどう考えているのか。

質問 ① 十九年度から二十一年度までに公表となる実質公債費比率がどのように推移するか、現時点での見込みを聞く。

② 職員の退職手当に係る起債について、具体的な適用の要件や金額等がわかっただら聞きたい。

③ 新規に開館した中央コミュニティセンターとその関連施設、体操トレーニングセンターやサッ

### 市政の内容を聞く

## 一般質問

九月定例会では初日

から十一人の議員が

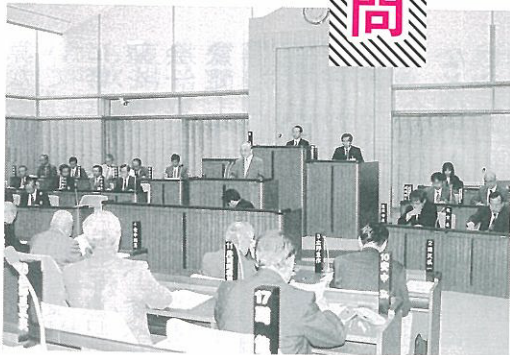
一般質問を行い市政

全般について所見や

執行状況を聞いた

しました。その要点

をお知らせします。



9月定例会本会議

### 加茂市の財政状況について

無所属 田沢弘一 議員

質問 ① 十九年度から二十一年度までに公表となる実質公債費比率がどのように推移するか、現時点での見込みを聞く。

② 職員の退職手当に係る起債について、具体的な適用の要件や金額等がわかっただら聞きたい。

③ 新規に開館した中央コミュニティセンターとその関連施設、体操トレーニングセンターやサッ

討するような組織ができないか。

答弁 ① 認定農業者数は現在七十六名である。現在、特定農業団体等はない。認定農業者で四拾以上の加入要件を満たしている農家(法人を含む)は三十一戸、耕作面積は二百二十六・五拾である。また、現時点において集落営農組織への動きについては聞いていない。

② 助成制度が明確になった時点で、活用できる事業については活用しよう対応したい。

大豆に係る対策に加入している大部分は、新しい対策でカバーされると思われる。対策に加入できない農家が作付けする大豆は、助成等が受けられない。

③ 農業者同志が話し合うことは、農業振興にとって非常に大切であるが、組織をつくったからといって、販売が促進され、加茂市の活性化につながるかは別の問題である。

④ 平成十七年六月十日に食育基本法が成立し、施行された。学校や保育園において、子供たちの家庭での食事の実態調査を行ったことがあるか。

答弁 ① 平成十九年度一六・

### 詳しくは会議録で

九月定例会の会議録は、十一月下旬に発行予定です。議会図書室、図書館、勤労青少年ホーム、老人福祉センター、各コミュニティセンター、新潟経営大学図書館でござんください。なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。また、視察報告は、市議会ホームページでもござんになります。



### テレビのデジタル化に伴う行政サービスについて

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 加茂市は、共聴受信施設を持つ組合はいくつあり、そのうち五十世帯以下の小規模組合はいくつあるか。また、各組合のデジタル化対策は、どのようにしているのか。難視聴地域の実情と関係住民に対する行政サービスの現況を伺う。

② 情報通信の基盤整備について具体的な日程等について伺う。

③ 市街地中心部の旧協栄信用組合の店舗や上町コミュニティセンターの空きスペースを若者が集う情報発信の拠点としてはどうか。

答弁 ① 加茂市で把握している組合は十八組合で、そのうち五十世帯以下の組合は十三組合ある。また、市の施設に関連している共同受信施設は、文化会館をはじめとして四カ所、市が分譲した若宮住宅団地がある。

現在、共同受信施設を改修しようとする、補助事業では民放テレビ難視聴解消施設整備事業があって、この事業でもデジタル化対応は可能となっているが、辺地共聴施設整備事業との関連がどうなるか、わかっていない。今後とも怠りなく情報収

### 加茂市の健康施策は本当に日本一か

市民クラブ 安武秀敏 議員

集をしていく。

② 八月一日から西加茂全域で、N T T東日本の光ファイバーを利用した超高速インターネット接続サービスBフレックスが開始

された。今後は早急に市内全域で利用できるよう要望していく。

③ 市内全域の光ファイバー網を整備することが最良の方策であると考えている。

質問 ① 国民健康保険の財政調整交付金の一部を国にかわり県が配分する制度が始まった。

県は健康増進事業の促進誘導策として、市町村の取り組みを二百点満点で採点し、優良自治体に優先配分する支援交付金を導入した。その結果、加茂市は二十市中最下位の九十点、町村を含めて下から四番目になっている。加茂市の支援交付金はいくらであったのか。

② 地方自治法の一部改正で、助役は副市町村長になり、収入役は廃止されることになる。平成十九年四月一日施行である。加茂市は小さな市なので、助役も廃止してはどうか。また、例規関係の整備はいつになるのか。

答弁 ① 評点が三十点もある

### 新政権下における市行政経費の節約等について

社民党市民連合 星野昭吾 議員

質問 ① 小泉内閣の地方いじめの最たるものは、地方交付税の削減であった。加茂市もこの影響を受け、基金の取り崩しや一時借入金をもって市政運営に心を砕かざるを得ない状態であ

どんな取り組みをし、どんな成果を上げたのか聞きたい。

② 美人の湯の開館以来、トラブルを繰り返して、昨年八月末に揚湯管の清掃工事に入り、丸一年を過ぎたが、豊富な湯量が回復したという話は聞いていない。エースエンジニアリングの担当者

### 消雪パイプ井戸の改良を

市民クラブ 中野元栄 議員

質問 ① 黒水中区から北区にかけての市道に敷設されている消雪パイプの井戸の水量が少なく、中区内の消雪ができなくなり大変困った。国道二九〇号の消雪パイプの井戸と同じ方法で中区の井戸一カ所だけでも掘り直してもらいたい。

② おくまん様を過ぎてからの粟ヶ岳ハイキングコースに松くい虫に強い赤松並木の復活をお願いしたい。

③ 宮寄上浄水場のろ過池の砂の取り替えの回数をもっと多くすることによって、おいしい水を供給できると思うがどうか。

答弁 ① 岩野橋左岸側の井戸内の清掃を実施し、水量の回復を図るが、水量不足が生じる場合は、機械除雪で対応したい。

② 二九〇号の消雪井戸は、県で同じものを狭口地内に設置しているが、これに要した経費は、約六千七百万円である。通常の約三倍強の経費がかかる。したがって、同じ方法で掘り直すことは、慎重な検討が必要である。

② おくまん様から粟ヶ岳に向かってのハイキングコースは、展望台までも約一・五キロあるので、当面、展望台までを目標に、早速今年度から植栽を実施したい。

③ 緩速ろ過法により水のろ過を行っている。このろ過法では砂の上部の生物膜によって、良好な水質を維持している。砂の取り除き作業回数を単に多くしても、あまり効果は期待できないと考えられる。



### 来年以降の加茂市財政方針と対応について

日本共産党 大桃 一明 議員

るのかどうか。

④ 工事期間の延長を何回も認めた理由を聞きたい。

⑤ 現在、温泉、源泉湯でないことを、市民にはどのような方法で告知しているのか。

答弁 ① 毎年度何人退職しても一人か二人しか採用しなければ、これによる人件費の減と今後の起債償還額の減によって、この財政赤字をなくしていく。ただし、政府がこれ以上交付税を削減してくるときは、人員削減をさらに続けていく。

② スケール防止剤添加システムにおける鋼管が、引き上げられずに工事が難航している。施工の完了予定時期は、現在のと

質問 ① 財政制度等審議会では、地方交付税の法定率も、聖域化をなくし、引き下げも検討するとか。新交付税制度の導入が検討されている。今までの以上の交付税の減額は死活問題である。行財政運営にあたり、市民の理解が必要である。今後の方針を問う。

② 美人の湯の清掃工事は、いつまでに契約どおり完成するのか聞きたい。

③ 工事が遅れている原因を把握しているのかどうか。

ころ不明である。

③ スケール防止剤添加システムにおける鋼管の先端部に、ロッドをはめ込むのに時間がかかっていること等である。

### 脳ドック検診の助成制度について

公明党 佐野正三良 議員

質問 ① 超高齢化社会に突入した現在、脳ドックの需要と必要性は増加の傾向にあることは否定できない。新年度より脳ドックの助成制度を設けることを提案する。

② 幼稚園と保育園を一元化するという総合施設、認定こども園の制度が創設されたが、幼保一元化法に基づき、加茂市の現在の状況と今後の見通し及び対応について尋ねる。

③ 平成十七年六月食育基本法が成立した。子供と食育について、今後の指針はどうあるべきか。また、大人の食育と健康のあり方について、食育の推進について考えを尋ねる。

質問 ① 超高齢化社会に突入した現在、脳ドックの需要と必要性は増加の傾向にあることは否定できない。新年度より脳ドックの助成制度を設けることを提案する。

② 幼稚園と保育園を一元化するという総合施設、認定こども園の制度が創設されたが、幼保一元化法に基づき、加茂市の現在の状況と今後の見通し及び対応について尋ねる。

③ 平成十七年六月食育基本法が成立した。子供と食育について、今後の指針はどうあるべきか。また、大人の食育と健康のあり方について、食育の推進について考えを尋ねる。

④ 温泉井戸の清掃を完了してもらうには、工期の延長もやむを得ないと考え行っている。

⑤ 薬湯湯の華により営業している内容の掲示をしている。

② 現在、市内でこの認定こども園を行いたいという話は聞いていないし、今後の見通しも今のところわからない状況である。当面は、この制度の動向を見ることになるかと考える。

③ 食育というものがどういうものか、まだぴんとこない。法律も読んだが、漠然として具体的に何をせよと言っているのかはつきりしない。要するに食育といったところで、現在は何を教えたらいのか、はつきりしているものはないように思う。

### 今変わってきている飲み水について

市政クラブ 森山 一理 議員

質問 ① 信濃川から取水し、供給されている地域の方から、夏場の水はおいしくないといつた声を聞いた。これは一体どういう現象なのか。また、良い水

① 信濃川から取水し、供給されている地域の方から、夏場の水はおいしくないといつた声を聞いた。これは一体どういう現象なのか。また、良い水

② コムソモリスク・ナ・アムーレ市に、乗らなくなった自転車を集め、贈ってはいかがか。

③ 雪椿まつりパレードがマン

ネリ化してきているので、一考願いたい。人力車にミス雪椿を乗せてはどうか。また、市内の音楽バンド(ロックバンド等)をトラックに乗せてはどうか。

答弁 ① 現実をよく調べてみなければいけないが、とびきりの浄水機材を加茂市はつけていない。その辺が一つの原因かもしれない。ミネラルウォーターや浄水器を利用した良い水の八項目を、加茂市の水道水と比較するのは困難だと思われる。

② 将来、コムソモリスク市に

おいて、一般的な交通手段としての自転車の需要が高まり、コムソモリスク市側からそのような要請があったときには、改めて検討したい。

③ 大勢のお客様の反応からも、全くそのようなことはない認識している。このパレードは和風ではなく洋風のパレードであるので、人力車の使用はふつり合いと思われる。ロックバンドとなるとリズムの違いからパレードの足並みがそろわず、違和感が生じるものと思われる。

### 米政策改革推進対策について

市民クラブ 安中 弘 議員

質問 ① 二〇〇七年度から新たな需給調整システムに移行するが、市はどのように関わっていくのか。米政策改革推進対策として成果を上げるため、生産調整への協力を促すべきと思うがどうか。認定農業者の戸数はどのくらいか。今後、担い手の育成をどのように進めるか。

② 中央コミュニティセンターのふるの利用実績を聞く。

主体性を持った取り組みを行っていかねければ、加茂市の農業を守れないと考える。生産調整に参加するかしないかは、あくまでも農家個人の自由であり、強制力はないので、農家の方々の判断に任せたい。

認定農業者は現在七十六名である。農機具購入費三割以内補助を今後も断固として継続していく。その中で担い手育成ができるものと考えている。

② 八月までの利用者は、七千三百九十六人、うち入浴された方は、六千九十五人である。

最近、利用者側から百円ぐらい利用料を上げてほしいとの要望がある。改定できないのであれば、せめて募金箱でも設置してはどうか。

答弁 ① 生産調整目標数量の配分は、対策が変わりJA等の方針作成者が行うことになるが、基本的には従来どおり加茂市が

入浴料金は、この程度でよいと思っている。また、百円での入浴が申しわけないからというような募金は、募金としてはいかなものかと考える。



# 私立高校の公費（私学助成）増額を採択

九月定例市議会で受理した請願は一件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

## 世帯かん

1件

### ▽採択したもの

☆意見書提出を求める請願

・公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書提出に関する請願（新潟県私学の公費助成をすすめる会会長）

### 障害者自立支援法の見直し要望の意見書など三件を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書三件を可決し、関係機関へ提出しました。

その意見書の要約は、次のとおりです。

#### ◎障害者自立支援法の見直しを要望する意見書

一、障害者とその家族の生活安

定のため、障害者自立支援法の世帯収入による定率負担を本人のみの収入によるものとし、障害者の実態にあった負担軽減策をさらにきめ細かく検討し拡充すること。

二、精神障害者の治療に欠かさない通院医療費公費負担制度を復活させて、医療の充実を図ること。

三、報酬単価の設定を従来の月額方式に戻すこと。また、新体系による単価・報酬の基準は低すぎ、サービス提供職員の配置基準は従来との間に整合性がなく、基準の見直しを行うこと。

四、精神障害者社会復帰施設及び小規模通所授産施設等運営費の国庫補助金を一律二五％削減の方針を改め、元通りの財源を確保すること。

五、小規模作業所が地域活動支援事業や個別給付事業に移行しやすくなるよう、また、経営が安定するよう緩和策を講じること。

六、障害基礎年金額を引き上げることにより所得保障となる

ようにすること。

#### ◎公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書

今日、全国では約三割の高校生が私立高校で学んでおり、私立高校は公立高校と同様に公教育として重要な役割を担っている。

しかし、私立高校における学費（初年度納入金）は全国平均で公立の六倍に達し、専任教員の数は公立基準の約七割の水準にとどまり、学費と教育条件で公立高校との格差が生じている。こうした格差の最大の要因は、

同じ公教育でありながら私立高校に対する公費（私学助成）が公立の約三分の一にとどまっていることにある。

憲法及び教育基本法は「教育の機会均等」を謳い、学校教育法は私立学校を公教育として明確に位置づけている。

よって、政府においては、私立高校が公教育に果たしている役割を十分理解し、私立高校への公費（私学助成）増額にいつそう努力するよう要望する。

#### ◎公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書

新潟県の私立高校は、建学の精神に立脚しつつ自主的かつ特色ある教育を行い公教育の重要な一翼を担ってきた。

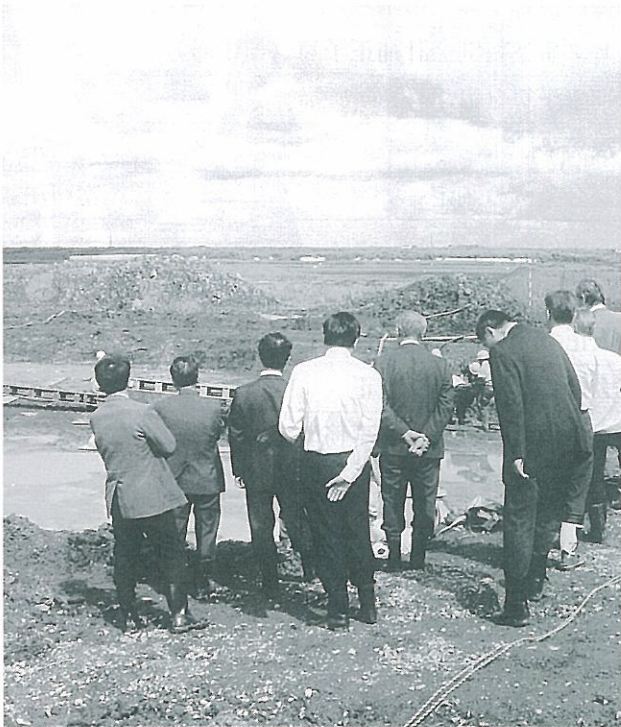
しかし、公教育でありながら私立高校の学費（初年度納入金）で、公立との格差は四倍を超えている。また、専任教員の数も公立基準の約八割の水準にとどまり、学費と教育条件で公立高校との格差が生じている。

こうした格差の最大の要因は、同じ公教育でありながら私立高校に対する公費（私学助成）が公立の約三分の一に低く抑えられていることにある。

よって、県においては、私立高校が公教育に果たしている役割を十分理解し、私立高校への公費（私学助成）増額にいつそう努力するよう要望する。

### 議会に配付した陳情

- ・中国における法輪功学習者の臓器摘出の実態調査を求める陳情書（日本法輪大法学会）
- ・トンネルじん肺根絶の抜本的対策を求める陳情書（全国トンネルじん肺根絶新潟原告団、全国トンネルじん肺原告新潟県家族の会）



総務文教常任委員会の現地視察（下条・馬越遺跡）



9月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
議案番号	件名	議決状況
9	障害者自立支援法の見直しを要望する意見書	原案可決
10	公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書（政府）	〃
11	公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書（県）	〃
市長提出議案		
53	専決処分承認（18年度一般会計補正予算第5号）	承認
54	専決処分承認（産業センター条例の全部改正）	〃
55	専決処分承認（コミュニティセンター条例の全部改正）	〃
56	専決処分承認（老人福祉施設条例の全部改正）	〃
57	18年度一般会計補正予算（第6号）	原案可決
58	18年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	〃
59	18年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃
60	18年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	〃
61	18年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	〃
62	18年度水道事業会計補正予算（第1号）	〃
63	17年度水道事業会計決算の認定	認定
64	新潟県収入証紙購買基金条例の制定	原案可決
65	二万年前旧石器公園条例の制定	〃
66	国民健康保険条例の一部改正	〃
67	体育施設条例の一部改正	〃
68	上水道新設工事分担金徴収条例の一部改正	〃
69	新潟県中越福祉事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更	〃
70	市道路線の認定	〃
71	固定資産評価審査委員会委員の選任（古川良二氏）	同意
72	18年度一般会計補正予算（第7号）	原案可決
73	産業センターの指定管理者の指定	〃
74	下条コミュニティセンターの指定管理者の指定	〃
75	七谷コミュニティセンターの指定管理者の指定	〃
76	須田コミュニティセンターの指定管理者の指定	〃
77	老人福祉センターの指定管理者の指定	〃
78	老人憩いの家の指定管理者の指定	〃

10月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
79	新潟県収入証紙購買基金条例の一部改正	原案可決
80	18年度一般会計補正予算（第8号）	〃

連合審査会

九月二十五日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案十三件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

九月四日に全員協議会が開かれ、指定管理者制度の実施について説明を受け、質疑を行いました。

ました。

（8月）

（9月）

議 会 日 誌

（8月）

（10月）



また、十月二十七日に月例全員協議会が開催され、産業建設常任委員会行政視察報告や、事務に関する説明書の質疑を行いました。

24日 特別豪雪地帯市町村議会協議会中央要望（東京都）  
29日 県市議会議長会（柏崎市）

17日 17日 社会厚生常任委員会  
17日 18日 北信越市議会議長会  
17日 18日 評議員会（松本市）

27日

臨時市議会  
月例全員協議会  
議会だより編集委員会

行政視察（たつの市・榎原市）  
「視察事項」  
・はつらつセンター  
・リサイクル館かしはら